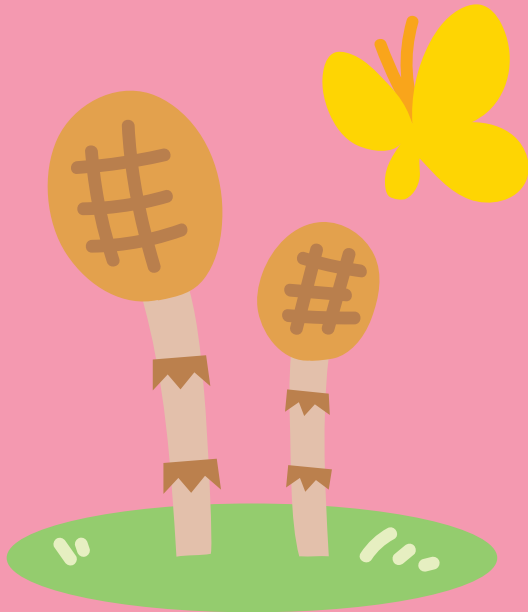


いんぎ



2018年2月17・18日

第60年次大会

未来につながる職場を創ろう！



西濃運輸労働組合は、第60回年次大会を、2月17日(土)・18日(日)の2日間、岐阜県大垣市「大垣フォーラムホテル」にて開催しました。大会には全国より代議員・役員・西濃連合会からの傍聴も含め総勢228名が出席し、真剣活発な議論が交わされました。

春季生活交渉方針をはじめ、重要議案を確認

午後からは、斉藤大会運営委員長より大会日程の提案があり、以降そのスケジュールに基づいて二日間の大会が運営されました。
まずは大橋書記長より、一般経過報告がされ、我々が一年間取り組んできた行事や取り組み、また諸会議の報告や各地区・支部・分会での活動が報告されました。代議員からは、長時間労働

まずは冒頭、近藤執行委員長の挨拶 (P4〜5参照)の後、ご臨席賜った来賓の方々(P3参照)よりご祝辞を頂戴しました。今回は先の参議院議員選挙で当選された、かわいたかのり参議院議員をはじめ、多数のご来賓の方にお越しいただき、大会の意義を高めていただきました。
続いて社会計より、2017年度会計報告が行われました。代議員からは、弔慰金申請ルールの確認や、間近に迫った組合結成60周年記念事業の内容等の質問がされた後、満場一致で確認されました。

1日目

第60回年次大会は、殉職者・物故者への黙祷で始まり、弓納持副執行委員長による開会の挨拶がされた後、大会諸役が選出されスタートしました。
労働につながる個人宛再配達の問題や有給取得や介護休暇制度の整備など働き方改革を踏まえた上での意見や、海外旅行などの組合行事に対する要請など多くの意見・要望をいただく中で満場一致で承認されました。

大会スローガン
輸送のたゆまぬ効率化で
未来につながる職場を創ろう！

議長団の紹介



今大会で議長を務めていただいた④的場健一代議員(岩国)④堀田暢之代議員(鶴見)④覚田徹代議員(鈴鹿)。見事な議事運営でスムーズな進行を務めていただきありがとうございます。



加野代議員 (河内)

◆そして議事に入り、第1号議案では、轡田執行委員より、2018年度春季生活交

2日目

◆第3号議案では、斉藤副執行委員長より、36協定(案)が提案されました(P7参照)。長時間労働が起因として起こる脳・心臓疾患による過労死等が、私達の職場が職種・業種ともに一位という過酷な現状にある中、ドライバーの平均年齢も上昇しており、若年層の担い手が少なく、切迫した状況にあります。当社としても前残業も含めた総残業や休日出勤、また、路線乗務社員の月間293時間オーバーや16時間超過など、解決しなければならぬ課題が山積しています。代議員からは、現場で採用

活動を行う際にかかる費用の補填や、協定の上限時間の考へ方。時間が伸びる要因の一つとして送り状画像化のことや、新年度からはじまる路線乗務社員へのタイムカード導入など、多くの質問や要請、意見を受ける中で、満場一致で可決しました。

◆第4号議案では、児玉副書記長より「事故防止推進決議(案)」の提案が、第5号議案では、高橋執行委員より選挙活動推進決議(案)が提案され、万雷の拍手によって可決されました。

◆最後に大会宣言(案)が中野執行委員によって読み上げられ、近藤執行委員長の力強いガンバロ一三唱で大会を盛り裏に終えることができました。



杉山代議員 (小田原)

大会を通して、日頃代議員が現場で感じている実態や仲間たちの苦しい胸の内を共有し、新たな一年をスタートする上で大変有意義な大会となりました。寄せられた意見や要望を踏まえ、執行部一丸となつてよりよい労働環境を整備することに取り組んで参ります。



新たな1年のスタートを切った

が提案されました。代議員からは戦力不足の中、必死に業務の改善・見直しに取り組み苦しい実態が現場からの生の声として披瀝されるなどし、賃上げは不可欠であるという認識の下、満場一致で可決されました。

ご来賓の紹介

ご多忙の中ご臨席賜りまして誠にありがとうございました。



交通労連本部中央執行委員長
山口 浩一 様



連合岐阜会長
高田 勝之 様



路ト連代表幹事
水戸 吉一 様



交通労連中部総支部執行委員長
中田 一 様



西濃連合会副会長
柳澤 孝司 様



参議院議員
かわい たかのり 様

◆西濃連合会より◆

北海道西濃運輸労組	執行委員長	阿部 裕司	様
セイノー通関労組	執行委員長	原田 圭一郎	様
セイノースーパーエクスプレス労組	中央執行委員長	狩屋 仁志	様
濃飛西濃運輸労組	執行委員長	板谷 和也	様
東海西濃運輸労組	執行委員長	渡邊 修	様
水都タクシー労組	執行委員長	田中 正美	様
西濃通運労組	執行委員長	高岡 和哉	様
西濃産業労組	執行委員長	安田 隼人	様
西濃エクスプレス労組	執行委員長	内田 和行	様
三重西濃運輸労組	執行委員長	中瀬 好則	様
日ノ丸西濃運輸労組	執行委員長	村尾 昌彦	様
四国西濃運輸労組	執行委員長	小山 真一	様
九州西濃運輸労組	執行委員長	眞島 吉朗	様
東北西濃運輸労組	執行委員長	日野 貞晴	様

輸送のたゆまぬ効率化で 未来につながる職場を 創ろう!



執行委員長 挨拶

(要旨)

執行委員長 近藤 寛

◆各地で混乱をもたらした記録的寒波

1月23日には都内を中心に大雪が降ったことに加え、その後も今世紀最強の寒波と言われる天候の影響で、特に日本海側を中心に記録的な降雪があり、私たちの仲間の車も国道8号線の立ち往生に巻き込まれてしまいました。この間、各現場では業務の正常化に向けて大変な努力をいただいたことに対して心から感謝申し上げます。

人倍率を見ますと全産業で1.59倍、運輸業界では3.51倍となっております。日に日にこの傾向は強くなっています。戦力不足が続き、ドライバーの採用もなかなか進まない中で、組合の各種機関会議においても労働時間が伸びてしまっているという声を多くもっています。会社も何もしない訳では無く懸命に採用活動を行っているものの、必要戦力の採用までには至らず状況の改善となっていないのは事実です。

昨今の世界経済の状況は好調な推移を示し、我が国経済も円安・株高の影響もあり輸出関連を中心に好調な状況にあります。ここに至り株価の暴落や燃油価格の高止まりなども見られませんが、総体的には好調に推移しており、私たちの業界も同様に前年を上回る荷動きによる増収増益が予測されています。

◆顕在化する人手不足と採用強化

このような状況下で私たちが業界が直面する一番大きな課題は、やはり人手不足(ドライバー不足)であり、この好調な経済状況の中、さらにその動きが顕著になってきています。直近の有効求

このような状況下、会社から次年度の36協定の提案を受けました。今年度の振り返りを聞く、採用状況についてはSDも路線も採用を続けてきており、歩留まりも改善傾向にあるとの報告をもらっています。また新年度の高卒定期採用の営業乗務社員の配属先も、これまで東京・名古屋・大阪の大都市圏を中心に行ってきたものを、新年度は採用が難しい採用困難地域にも広げる方向性も聞いています。さらに今後については各職場で採用に向けこれまで途切れてきたルート(高校等)へのアプローチも積極的に行っていく計画も示されており、現場でもこの取り組みに対

する理解と協力をいただき是非採用に結び付けてもらいたいと思います。

また採用に力を入れると同時に、私たちの現場も現在の戦力で、目の前の業務が賄えるような努力も一方で続けていく必要があります。戦力不足ばかり言ってもすぐに採用の状況が改善されるわけではありません。昨年のヤマトシヨックを踏まえ、集配にあたる戦力を確保する事が第一ではありますが、長時間労働を前提としたこれまでの業務の組み立てはもう続けられない厳しい状況にあることも考えなければなりません。

◆適正運賃收受と総量規制

私たちも同業他社と同様に、運賃の適正化を進めています。同時に取扱個数をさらに制限する総量規制も考えていかないと、配達現場が疲弊してしまいます。4月から宅配はもとより個人宛①・②について適正な運賃・料金を收受するための取り組みが会社から示されています。ただ単に個人宛①・②の適正な運賃・料金を收受すれば良いというものではありません。全店から

物量の35%強が東京・千葉・神奈川の関東圏に送り込まれており、用車の手配もままならないため、自転車での配達がよぎなくされ、再配達や夜間の配達により、結果としてそこで働く仲間が長時間労働や休日出勤の慢性化となっているのが実態で、特定の配達店に大変な苦勞を掛けていることも是非認識していただきたいと思えます。

戦力不足の中、商業物流を中心に運賃の適正収受化を推進することで、物量を極端に増やさず増収増益に繋げていく取り組みこそが、私たちの労働環境の改善に結びつくと思います。会社も組合も現場も同じ目線で取り組んでいけるように各現場での対応をお願いします。

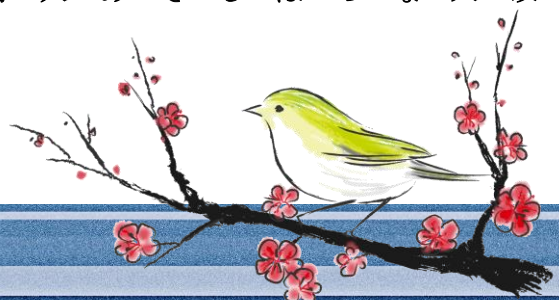
◆悲しい事故を二度と起こさないために

次に安全の問題です。大会の冒頭、殉職者・物故者への黙祷を捧げてもらいました。皆さんもご承知のように、年明けに私たちの大切な仲間が命を落とす悲しい事故が発生してしまいました。毎年無事故運動であるカンガルー運動を労使一体となって取り組んでおり、執行部も期間中各職場を回らせていただき督励をさせていただいて

います。このような悲しい事故が身近で発生しないと、重大な問題として感じてもらえないというのではなく、こういった辛い思い、悲しい出来事は私たちの職場から全て無くしていかなければいけません。そのため具体的な特効薬がある訳ではありませんが、一人ひとりがしっかりと安全に対する認識を持つことで必ず無くなるものだと思っていますし、そのためにもここに参集の組合役員が今一度、百万編教育として職場に向かって訴えを続けてもらいたいと思えます。

◆未来に繋がる改善の一步を踏み出すために

本年の大会は中間年での開催であり運動方針はありませんが、各職場で抱えている問題や課題について多くの発言をいただき、全職場の皆さんと認識を共有化していきたいと思っております。この大会が未来に繋がる改善に向けての第一歩となることをお願いし挨拶とさせていただきます。



2018 春季生活交渉方針決定

賃上げ要求 8,500円

臨時給要求(年間)+100,000円



◆2018 年度春季生活交渉要求案を作成するにあたり国内経済の動きや主な情勢、我々の上部団体(連合・交通労連)の春闘方針、当社の現状や来期見通しなどを総合的に勘案したものを第60回年次大会の「第1号議案:春季生活交渉方針(案)」として提案し、出席代議員の慎重審議の末、可決承認されました。

その後は、2月20日(火)に行われた労使協議会で会社に要求書を提出し、以降の交渉については執行部で構成する「交渉対策委員会」を設置し、労使協議会方式から団体交渉へと切り替え精力的に粘り強い交渉を展開します。

具体的な進捗や交渉経過は労組情報等でお知らせします。

A. 賃金の引き上げ要求

① 要求額 組合員所定内一人平均 **8,500円**

② 初任給引き上げ要求

高校卒 18歳 一般事務 特A¹地区

206,350円(+4,300円)

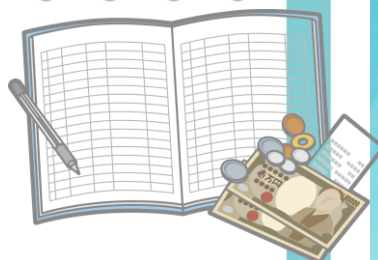
短大卒 20歳 一般事務 特A¹地区

220,650円(+4,600円)

大学卒 22歳 総合事務 本社

220,750円(+4,600円)

※代表銘柄のみ表記。上記以外の職種については所定内賃金を2.12%引き上げる要求とする。



B. 年間臨時給の引き上げ要求

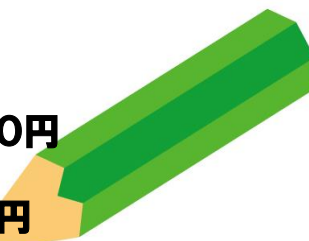
① 要求額 組合員一人平均

前年実績額+**100,000円**

② 上・下期の要求内容

上期 … 前年実績額+**50,000円**

下期 … 前年実績額+**50,000円**



この時期になると良く聞く、「**ベア**」って一体何のこと? 熊じゃないよね。。

「ベア」とはベースアップの略で、通常年功序列で増えていく賃金(定期昇給)以上に賃金を上げることを言います。

今回の賃上げ要求額8,500円でいうと、内訳は「定期昇給」4,200円+「ベア(ベースアップ)」4,300円となります。



次年度36協定を締結

時間枠については前年同様で

◆ 私たちの残業時間を定める 36 協定は、第 60 回年次大会の第 3 号議案として提案され、出席代議員の承認を得る中で、2 月 20 日（火）に行われた労使協議会で会社と協議を行いました。

大会で寄せられた様々な意見・要望を踏まえ、会社から提案された協定順守のための 5 項目についてさらに一歩踏み込んだ具体的な取り組みを示してもらう必要があるとして、組合より①休日出勤を減らすため②残業時間を減らすため③採用定着を良くするため④省力機器を適正配置するため⑤時間管理上の不正処理をなくすための 5 項目について、それぞれ具体的に取り組む対策について 3 月開催の労使協議会の中で会社から披瀝してもらうことを要請し、来期の 3 6 協定に関しては以下の内容で締結しました。



◆36協定の締結内容

① 1 日の最高残業時間は、突発的事態・特殊事情等への対応として、全職種とも 1 日の最高時間を 3 時間とし、以下の内容をもって協定する。

②非乗務社員

期 間 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 上期 200 時間、下期 200 時間
但し、厳しい労働環境の中、これ以上の時間が必要な店所は、最大限で上期 1 人最高 230 時間、下期 1 人最高 240 時間迄の消化を認めて、顧客サービスに対応する。

③営業乗務社員

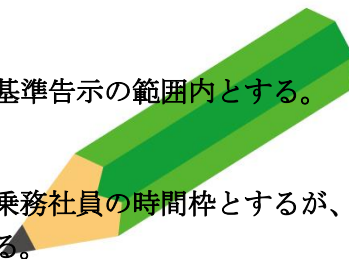
期 間 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 上期 360 時間、下期 370 時間
※出勤から退勤までの総労働時間で管理を行う。

④複合乗務社員・路線乗務社員

期 間 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 ※改善基準告示の範囲内とする。

⑤運用面での対応について

引越担当者、プランナー、航空担当者については、非乗務社員の時間枠とするが、運用面での弾力的対応は労使協議会で認めるものとする。



36(サブロク)協定って一体何のこと？ サブロクジュウハチ。。。？



法定の労働時間(1日 8 時間、週 40 時間)を超えて労働(法定時間外労働)させる場合、または、法定の休日に労働(法定休日労働)させる場合には、あらかじめ労使で書面による協定を締結し、これを所轄労働基準監督署長に届け出ることが必要です。

この協定のことを労働基準法第 36 条に規定されていることから、通称「36 協定(サブロクキョウテイ)」といいます。

つまりこの届出がなければ、会社は残業をさせることが出来ません。運輸業界は過去から「長時間労働」の業種といわれていますし、私たちの仕事も法定労働時間8時間ではなかなか終わらないのが現実です。顧客への対応や業務面を考えると時間短縮ではなく、かえって「もっと時間枠を伸ばして欲しい」という声もあるかもしれません。しかし、若い世代の意識は変化しており、仕事と生活の両立が進んでいます。その中では、時間の上限を決めながら時間短縮を進めることで、自分の時間もしっかりとれる働きやすい職場にしていく必要があります。

みんなで時間を守り短縮できるように取り組んでいきましょう。

2018年度

労働組合 < 年間行事予定 >



2018

4月

15日 役員研修会

ところ：大垣フォーラムホテル
内 容：全組合役員が集まっての研修会

21～22日 第1回ユースリーダー研修会

ところ：ナゴヤグランドホテル
内 容：次代を担う青年・女性リーダーの育成

22日 第1回本部路線連絡会議

ところ：大垣フォーラムホテル
内 容：本部路線連絡員が組合活動の理解と認識を深める。

19～20日 夏期学習会

ところ：IPC生産性国際交流センター
内 容：組合役員を対象とした本部主催の学習会

7～9日 第64回青年女性集会（湘南）

ところ：大磯プリンスホテル
内 容：若い組合員の友愛と連帯を育むための集会



5月

6月

7月

8月

9月



1～2日 第2回本部路線連絡会議

ところ：岐阜グランドホテル（予定）

1～2日 第2回ユースリーダー研修会

ところ：開催場所検討中

10月

11月

12月

10～11日 西濃連合第55回年次大会

ところ：岐阜グランドホテル
内 容：西濃連合の連帯と結束力の確認

18日（予定）第40回全国将棋大会

ところ：大垣フォーラムホテル
内 容：セイノー棋士 No.1 の座を掛けた戦い

7日 第18回社内親善野球全国大会

ところ：西濃運輸本社球場
内 容：セイノーNo.1 を掛けた代表チームの戦い



2019

1月

2月

3月

第65回青年女性集会（ガム）

ところ：PICガム
内 容：常夏ガムを舞台に若い組合員の交流会



第61回定期大会

ところ：大垣フォーラムホテル
内 容：西濃運輸労働組合の二年間の運動方針や春季交渉、36協定などの重要諸議案を確認

新年度の主な活動

- ・西濃運輸労働組合結成60周年記念事業として記念品の配布を行う。
- ・SD連絡会議は地区ごとに年2回実施。
- ・組合員手帳の発行を行う（4月）。
- ・共済福祉活動（全労済加入促進キャンペーン）実施（4月、11月）。
- ・職場環境実態調査の実施（4月）。
- ・各地区・支部でのスポーツ行事を実施。

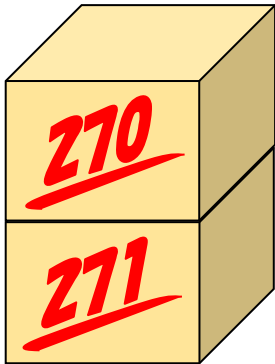
皆さんの行事へのご協力
宜しくお願いします。

300名超最大規模東京分会結成一周年

分会便り



東京分会



東京支店・深川支店統一周年の日に、一致団結して最強チーム東京を創ることを誓った

2月1日は東京支店と深川支店が統合して一周年の記念日でした。同時に東京分会と深川分会も統合し西濃運輸労働組合最大の300人を超える分会が誕生した記念日でもあります。

当日は朝礼終了後にセイノーロジトランス新木場正面玄関にて全員で一周年記念のガッツポーズ!!!

チーム東京は最強を目指し一致団結してがんばります!

【通信員】

東京分会長

渡邊 英法



青森伝統イベント! 年始献血!

青森分会

100

以前「いぶき」の中で、青森分会伝統行事として仕事初めの献血活動を載せていたが、全国の皆さんもご存知かと思いますが、毎年恒例として今年も行いました。ただ、近年参加者が伸び悩みましたものかなど悩んでおりました。献血車の時間帯をお昼頃にしてもらったりして、参加し易いようにいろいろと手を打ってはきましたが、思うように伸びてはきませんでした。今年も不安でしたが、昨年・一昨年入社の上SD若手らが率先して協力をしてく



伝統を引き継ぐ青森分会の未来のリーダーたちの活躍に期待!

れたおかげで、赤十字さんからお願ひされていた目標人数をクリアすることもでき、感謝の気持ちでいっぱいです。

当分会では昨年、SDだけでも4名の入社があり、一年目の若手と横浜支店からの転勤者によりぐっと平均年齢が若返りましたのでこのような社会奉仕活動にごく自然に参加してくれるのはとても頼もしいです。近い将来、彼らが中心となって店を盛り上げてくれると信じております。

【通信員】

青森分会長 加藤 弘行



他の分会の皆さんも積極的に献血活動を!



濃飛西濃労組 労働環境改善に向け意義ある意識併せ



濃飛西濃運輸労働組 52回中央委員



↑④出席役員から労働環境の改善に向けて前向きな意見が出されました。
縮めくくりでガンパロー三唱をする板谷委員長⑤→

第52回中央委員会

私たち濃飛西濃運輸労働組合は、第52回中央委員会を2月4日(日)郡上市白鳥町『ふれあい創造館』において、役員・中央委員・傍聴総勢85名が出席し開催いたしました。

議長には、各務原分会の板津陽介さんが選出され、冒頭の板谷委員長挨拶では『この中央委員会は、春季生活交渉に向け、賃金・臨時給はもちろんのこと、労働環境の改善に向けた議論をする重要な場となる。率直な意見を出していただき、有意義な中央委員会となるよう、活発な協議をお願いしたい。』等の話がありました。

その後、執行部より一般経過報告・会計報告・会計監査報告があり、活発な質疑応答が展開されました。また議案においては、2018年度春季生活交渉方針(案)等が満場一致で承認され、最後に板谷委員長の力強いガンパロー三唱で締めくくりました。

【通信員】書記長 村瀬 大

西濃エクスプレス労組 需要議案を満場一致で可決承認



第37回定期大会

私たち西濃エクスプレス労働組合は2月11日輪之内町民センターにおいて、近藤西濃連合会長と、交通労連中部地方総支部より富田書記長をご来賓にお迎えし、第37回定期大会を開催しました。

大会は「創ろうより良い職場環境 目指そうES向上明るい未来!」をスローガンに、この一年間の活動を総括すると共に向こう二年間の運動方針、2018年度春季生活交渉等の重要諸議案を満場一致で可決承認し、大会を成功裡に終える事が出来ました。また今大会で役員改選が行われ新体制でのスタートとなりました。

最後になりましたが、西濃連合各単組より丁寧なるご祝辞、ご祝電等多数賜り心より厚く御礼申し上げます。

【通信員】書記長 山崎 真樹

大会で挨拶をする内田委員長

- ◆新執行部◆
- 執行委員長 内田和行(再)
- 副執行委員長 中村 孝(再)
- 副執行委員長 星 寿浩(新)
- 書記長 山崎真樹(再)
- 会計長 井上 正(再)
- 会 計 長 金沢正之(再)
- 東北支部長 小野敏文(再)
- 関東支部長 小原研治(再)
- 中部東支部長 里見寛幸(再)
- 中部西支部長 宮本義彦(再)
- 関西支部長 北島幸雄(再)
- 九州支部長 加賀屋宏幸(再)
- 会計監査 小池正仁(再)
- ◆退任役員◆
- 前副執行委員長 八木道隆





四国西濃労組



絆と団結で
元気あふれる職場を



年次大会で挨拶をする小山委員長

第57回年次大会

私たち四国西濃運輸労働組合は、2月24日(土)松山市のホテル椿館において、近藤西濃連合会長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、第57回年次大会を開催致しました。

大会では、「絆と団結で元気あふれる職場と明るい生活(くらし)を構築しよう!」を昨年を引き続きスローガンに掲げ、この一年間の活動を総括するとともに、2018年度春季生活交渉方針などの重要諸議案を満場一致で可決・承認し、小山委員長の力強いガンバロー三唱で大会を成功裡に終える事ができました。

最後になりますが、西濃連合会並びに各単組より丁寧なるご祝辞、ご祝電等を多数賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。

【通信員】

書記長 白石 浩介

Let's make IBUKI together★

『家庭のたより』の投稿お待ちしております。

機関紙「いぶき」に投稿して、ご家族・お子様との大切な一瞬(思い出)をのこしませんか?



■応募方法■

社内便の場合 本社行きコンテナにて労働組合宛でお送りください。

郵送の場合 〒503-0853 岐阜県大垣市田口町3
西濃運輸労働組合「いぶき」係

パソコンのメールの場合

メールアドレス：ogaki08@stwu.seino.co.jp

※分会名、組合員氏名を必ず明記してください。

投稿のお礼に図書カードを贈呈します。たくさんの投稿お待ちしております。(いぶき編集部)

いぶき恒例 春の特別企画

ピカピカの1年生

この春、幼稚園・保育園・小学校に入園・入学する
お子さんの写真を大募集！
大切なお子さんの思い出の一枚を
いぶきに掲載されませんか！？
たくさんの投稿お待ちしております(^_^)！

◆◆◆◆ 募 集 要 項 ◆◆◆◆

■応募資格■

- ・組合員のお子さんである事
- ・2018年春に幼稚園・保育園に入園、または、小学校に入学される事
(中学生以上は対象になりません)

■応募方法■

メールの場合

ogaki01@stwu.seino.co.jp へお送りください。
※メールの場合は件名欄に必ず分会名(連合会の方は単組名と支店名)
と氏名を記載し、下記必要事項を文章欄に記載し
てください。

社内コンテナの場合

大垣本社行のコンテナにて「西濃運輸労働組合」宛にお送り下さい。

郵送の場合

送付先：〒503-0853 岐阜県大垣市田口町3番地
西濃運輸労働組合「ピカピカの1年生」係

■記載していただく内容■

- ①分会名(連合会の方は単組名・支店名)
 - ②組合員さんの氏名
 - ③お子さんの氏名(フリガナ必須)
 - ④幼稚園・保育園入園 or 小学校入学
 - ⑤親御さんからお子さんへ一言コメント
 - ⑥西濃労組機関紙「いぶき」へのご意見・ご感想
- ※①～⑥全ての内容を必ず記載してください。

■投稿の際にご留意いただきたい点■

- ・お子さんが大きくはっきりと写っている写真を送ってください。
- ・(社内コンテナ or 郵送で写真を送る場合) 写真の裏に組合員氏名を
ご記入ください。
- ・写真に複数の人物が写っている場合は対象となるお子さんが
はっきりと分かるようにしてください。



締切:2018年4月12日(木)労働組合本部到着分まで

※編集の都合上、締切を過ぎてのご投稿はお受けできませんので予めご了承ください。

(2018年3月12日発行)
西濃労組機関紙「いぶき」第497号

発行責任者: 近藤 寛
編集責任者: 高橋幸伸 編集スタッフ: 太田裕幸
発行元: 西濃運輸労働組合
〒503-0853 岐阜県大垣市田口町3番地
Tel.0584-81-3865 内線 851-2640

